

# 進路通信 2018/2 前期

在校生・卒業生・保護者・教職員

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

## ◆特集 受験生 これからの粘り◆

大学入試センター試験も終わりました。本校の結果は、以前の進路通信の通りです。それぞれ個別試験や私大の受験に向けて準備していることと思います。3年生は今週から、家庭学習期間に入ります。この期間の学習が合否を分けることとなりますので、今回の通信ではその点に触れたいと思います。後半は、東京大学の研究会に参加された数学担当の加藤知有先生のレポートを掲載します。

### 1 3年生家庭学習期間を乗り切る8つのポイント

#### ①出願はぬかりなく

国公立大・私大を問わず、出願は自己責任で行います。出願に必要なものを入れ忘れたなどのミスは致命的です。また、自分のセンター試験の受験科目でその大学に出願することができるかどうかなども、募集要項等でもう一度確認してから出願してください。センター試験の受験科目不足で不合格というのは、一番情けないですね。取り返しがつかないことですから、自分で点検して出願してください。自己責任になりますから、気をつけて下さい。

よくあるミス！

- ・センター試験成績請求票を貼り付けるのを忘れた
- ・2次試験の選択科目をチェックするのを忘れた

いずれも大学から電話が来ました。

#### ②夜型生活で、勉強時間を稼いでも、「効果半減」と心得よ

午前3時や4時までがんばって勉強して、朝11時ごろまで寝ているというような生活は最低です。午前3時に入試は実施されません。午前8時半には、受験モードで勉強できる生活を心がけよう。「体作り」も合格に必要なことです。朝型の生活スタイルを自分で作りましょう。

#### ③過去問を解くときは、試験時間を意識した学習をせよ

実に当たり前のことですが、このことを実行しない受験生がいます。注意してください。時にはじっくり問題に取り組むことは、悪いことではありませんが、この時期は、試験時間（例えば120分間等）の時間を意識して問題を解くことが大切です。少しでも得点を多く取るには、どの問題を先に解き、どれを後回しにするか、判断しなければなりません。適切な判断は、入試当日、いきなりできるものではありません。普段から、そういう目で問題にあたり、判断するクセをつける必要があります。

また、自己採点をすると合格者の平均点や合格最低点から実際に合格できるかどうか分かるはずですが。それをきちんと越えるように勉強することです。

#### ④学校の活用を勧めます

せっかくの家庭学習期間ですし、自宅で勉強・・・という人もいると思いますが、是非学

校も活用してください。ここ2・3年の国公立大学合格者が多い理由の一つがこの「学校の活用」と断言できます。昨年、一昨年と湖陵の受験生たちも大いに学校を活用していました。国公立大学の個別試験は記述問題です。記述問題で、評価される答案が書けるようになるためには、教員力を活用するのがよいと思います。そのうちに、自己採点する力も向上してきます。これまであまり先生方を頼らなかつた生徒は自分の可能性をさらに高めてくれることになるはずですよ。

昨年度の結果

国公立大学現役合格者数 114名（前期まで 85名・ 中・後期 29名）
国公立大学現役合格率 48.1%
1学級あたりの国公立大学現役合格者数 19人

一昨年度の結果

国公立大学現役合格者数 120名（前期96名 中・後期24名）
国公立大学現役合格率 50.6%
1学級あたりの国公立大学現役合格者数 20人

#### ⑤人恋しさに打ち勝つ

学校生活から一転、家庭学習期間になり、友人等とかかわる時間等も少なくなります。人恋しさから、スマートフォンなどを何時間も操作したり、せっかく学校に来てても、勉強等以外の話に花が咲きすぎて、何時間も費やしてしまうなど、気をつけて下さい。学校で友人と励ましあったり、勉強を教えあったり、たわいもない話で気分転換をはかるのはよいとしても、何時間も学校にいて、勉強時間が滞在時間の半分しかなかったでは、もったいない話ですよ。

#### ⑥センター試験は通過点。センター試験の判定が「A」「B」でも絶対安心しない。

センター試験の結果が「C」「D」「E」判定の人は、逆転を狙う訳ですから、当然勉強に気合いが入っているはずですよ。センター試験で「A」「B」判定の人、気を緩めてはいけません。「先生、僕はセンター試験が終わって、急に勉強がおろそかになりました。A判定がついていたこともあり、心のどこかで、あまり勉強しなくても行けるのでは？と思っていました。もちろん勉強しなければならないことは、わかっていましたが、前期試験当日まで、自分の勉強スタイルを変えることができませんでした・・・」不合格になった先輩の敗戦の弁に私は、何か家庭学習期間前に本人に言ってあげる言葉はなかったかと、反省しました。

合格通知を手にするまで、何が起こるかかわらないです。判定が良い人も、**とことん勉強して逆転されないように。**

#### ⑦この時期の「頑張り」はもの凄い力になる

現役生のこの時期の頑張りとは、当日にもの凄い力を発揮することがあります。人生で初めての大学受験ですから、そんなことは、なかなかイメージできないと思いますが、実際、もの凄い力を発揮することがあります。そうなるための「頑張り」ですが、「12時間」は勉強できるはずですよ。6時間睡眠、2～3時間の食事と入浴とすると、残りは12から14時間はあります。8時間くらいの勉強は、志ある受験生はします。そこから、どれだけ上積めるかが勝負です。現役生は特に、記述の勉強が足りていない人が多いのですから、ここで頑張ら

なくてどうするのですか。「C判定から逆転するんだ」と生徒は気楽に言いますが、逆転することとは、ここにあげた時間を勉強し遂げるということです。それができないなら、「逆転」「奇跡」は望まないことです。ここで書いた12時間以上の勉強時間を確保し続ける受験生はごく少数です。だからこそ、逆転・奇跡が、少し起こるのです。受験は実に平凡なものです。こつこつ頑張ってきた人が、最後まできちんとやり通せば合格です。しかし、判定を覆しても合格を勝ち得たいなら、とことん頑張り抜くことです。そういう人は1・2年生のうち十分「気分転換」をしてきたのですから、この時期に「気分」を「転換」している余裕などありません。全力でぶつかりましょう。

## ⑧国公立大学・私大の受験、余裕をもって

雪害等があるかもしれません。今回のセンター試験で北陸地方では雪のために試験時間を繰り下げるなど大変だったようです。余裕を持って試験に臨んでください。

### ※お願い

- 北海道教育大学・小樽商科大学及び北大を含めた上級大学の2次試験を受験する生徒にお願いします。毎年「再現答案」の依頼が予備校からお願いされています。これは湖陵生の後輩たちへの貴重な資料となるものです。詳しくは卒業式の予行練習の際に連絡します。ご協力お願いします。
- 卒業式が終わると国公立大学の合否結果が出てきます。春には晴れて大学生になる生徒が多いでしょう。その際、大学受験に使った参考書を湖陵の後輩たちに寄贈したいという生徒がいましたら進路室や担任の先生に渡してください。きっと後輩たちも喜んでくれると思います。
- 卒業式終了後、3月の中旬になるとと思いますが、生徒玄関の下足ロッカーの清掃があります。その時似合わせて自習室の赤本の整理を行います。ご協力をお願いします。

## これからの粘り

センター試験が終わりました。1年間の模試と比べて一番点数が高かった子が多かったと思われませんが、なかには熱を出して苦しい思いもしながらも受験した子もいたことでしょう。これから大切なのは、その点数を活かして出願することです。よく考えて出願してください。さて、家庭学習期間に入ると「自分との闘い」になります。先ほどにも書きましたが、一日12～14時間も勉強できるんです！例えば2科目だと最低でも6時間ずつできます。不安な子もたくさんいるでしょう。その不安を払拭させるにはやはりやるしかありません。小論文で不安な子は毎日先生に添削してもらったらいいではないですか！受験までに何本書けますか？

おそらく皆さんはこれからの勉強で一科目それぞれ何点取れるようになるか、分かるはずです。分からない生徒はこの1年間しっかりと取り組むことができなかった生徒です。その点数は合格する基準を超えていますか？基準を超えないのが分かっている、今までと同じ勉強の仕方でもいいのでしょうか？これまでと違う方法でなければ自分の予想を超える点数は取れるわけがありません。ほぼ全ての科目で先生方の力を借りずに勉強してきた生徒は先生とマンツーマンレッスンを受けるのも一つの手です。まずはどうやれば合格するのかをしっかりとイメージすること。その計画を確実に実行すること。センター試験で頑張った点数をさらに活かすように頑張ってください。

また、チャレンジ精神を忘れないでください。A判定でも覆されるのです。あくまでも受験はチャレンジです。守りに入らないように！

**湖陵生の皆さん、勇気を出しなさい。限界を自分でつくったらダメ！可能性はいくらでもあるんだからね！**

## 2 2017年度 東大入試研究会 加藤知有先生

**理科・文科ともに易化の傾向であるが、受験者の合格に特に影響していないようです。成績開示データによると、今年度の合格者平均得点率は「理科72%」「文科66%」です。**下記に理科・文科について、各大問の分野と方針等について記載します。

□理科 150分(各20点×6題 = 計120点)

第1問【三角関数(数学I・II)】

(1)は順番に計算するのみ (2)は単なる平方完成の利用

第2問【確率(数学A)】

(1)  $y-x$  の変化に注目すると素早く処理できる。

(2)  $x$  軸に平行な移動と  $y$  軸に平行な移動に分けて4種類の移動の回数を書き出すとよい。

第3問【複素数平面(数学III)】

(2)(1)の結果をうまく使うと、改めて計算する必要はありません。

**\*いきなり「反転」を使う受験生が多いそうです。**

第4問【整数・数列(数学A・B)】

誘導が丁寧です。(4)は互除法を用いて次数を下げるとよい。

第5問【座標(数学(II))】

(2)3本存在することが図形的にはほとんど明らかですが(1)を使って式で議論するのが安全です。

第6問【積分法(数学III)】

(2)(1)の場合の線分OPの通過範囲(円錐の側面)を  $x$  軸のまわりに1回転したものがKになります。

**\* (2)の白紙答案が多かったようです。**

□文科 100分(各20点×4題 = 計80点)

第1問【微積分(数学II)】

「ただ1点を共有する」という条件を用いることで  $\frac{Q}{P}$  を  $t$  のみで表すことができます。

第2問【平面図形(数学A・B)】

ベクトルの活用が効果的です。

第3問【確率(数学A)】

理科第2問を親切にした問題です。

第4問【理科第4問と同じ】

**\* (3)で止まる受験生が多い。文字式の互除法が理解できていない。**

都市部の学生は合同式のトレーニングをしているらしいとのこと。具体的には、合同式で負の値を使いこなせるかどうかで、数学を知っているか試されているからだそうです。東京大学を目指す生徒は、全ての分野を隅々まで理解することはもちろんですが、「**数学の本質について問われている**」ことを意識するとよいのではないのでしょうか。